

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	こころとからだのしくみ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	通年	教室名	
担 当 教 員	牧原 新子	実務経験と その関連資格	看護師・医療的ケア及び介護教員 病院、介護福祉施設で介護職員指導看護師実務経験 15年			
《授業科目における学習内容》						
基礎的なこころとからだのしくみを教授する。介護技術の根拠となる人体の構造、機能、介護サービスの提供における安全への留意点や心理的側面の配慮について理解する学習とする。						
《成績評価の方法と基準》						
試験70% レポート20% 態度、出席10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
*最新介護福祉士養成講座 11 こころとからだのしくみ(中央法規) *楽しく学ぶ解剖生理(照林社)						
《授業外における学習方法》						
生活支援技術との連動を図る。						
《履修に当たっての留意点》						
介護技術の根拠となる人体の構造、機能、介護サービスの提供における安全への留意点や心理的側面の配慮について理解する学習とする。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	健康の定義 寿命について理解することができるようになる	上記教材		
		各コマに おける 授業予定	健康の定義について			
第 2 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	人の基本的欲求、種類とその内容を理解していく			
		各コマに おける 授業予定	こころのしくみについて 人間の欲求			
第 3 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	脳とこころの関係、脳のもつ機能を理解することができるようになる			
		各コマに おける 授業予定	こころのしくみの基礎について			
第 4 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	脳の解剖生理を理解することができるようになる			
		各コマに おける 授業予定	からだのしくみ 細胞～遺伝 脳～神経・脊髄 感覚器			
第 5 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	肺、心臓の名称、解剖生理を理解することができるようになる			
		各コマに おける 授業予定	からだのしくみ 内臓の名称 呼吸器、循環器のしくみ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	解剖生理を理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	からだのしくみ 消火器 泌尿器 のしくみ		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨関節の動きのメカニズムを理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	骨・筋肉のしくみ 神経のはたらき		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	解剖生理を理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	生殖器・内分泌・血液リンパのしくみ		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉職に必要な薬の知識を学び理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	介護現場での薬の知識、副作用について		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	移動する必要性、移動の効果を理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	移動のしくみ 基本的な姿勢		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	移動するためのからだのしくみを理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	移動に関連したところとからだのしくみ		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	移動と心身機能の関係性を理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	移動が不自由になる要因、状態について 観察のポイント		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	身じたくに関連するからだのしくみについて理解することができる		
		各コマにおける授業予定	身じたくに関連したところとからだのしくみ～顔・眼・鼻・爪・毛髪		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	身じたくに関連するからだのしくみについて理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	身じたくに関連したところとからだのしくみ～口腔		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	1回～14回の理解度の確認をすることができるようにする		
		各コマにおける授業予定	まとめと試験		

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	こころとからだのしくみ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	通年	教室名	
担 当 教 員	牧原 新子	実務経験とその関連資格	看護師・医療的ケア及び介護教員 病院、介護福祉施設で介護職員指導看護師実務経験15年			
《授業科目における学習内容》						
基礎的なこころとからだのしくみを教授する。介護技術の根拠となる人体の構造、機能、介護サービスの提供における安全への留意点や心理的側面の配慮について理解する学習とする。						
《成績評価の方法と基準》						
試験70% レポート20% 態度、出席10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
*最新介護福祉士養成講座 11 こころとからだのしくみ(中央法規) *楽しく学ぶ解剖生理(照林社)						
《授業外における学習方法》						
生活支援技術との連動を図る。						
《履修に当たっての留意点》						
介護技術の根拠となる人体の構造、機能、介護サービスの提供における安全への留意点や心理的側面の配慮について理解する学習とする。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化に伴う機能低下、身支度を整えることを妨げる要因について理解することができるようになる			
		各コマにおける授業予定	心身の機能低下が身支度に及ぼす影響～変化と気づきと対応 観察ポイント 緊急対応			
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	嚥下、摂食に関わる解剖としくみを理解することができるようになる			
		各コマにおける授業予定	食事に関連したこころとからだのしくみ 食事の種類			
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化に伴う機能低下、食事動作を妨げる要因について理解することができるようになる			
		各コマにおける授業予定	心身の機能低下が食事に及ぼす影響～変化と気づきと対応 観察ポイント 緊急対応			
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	入浴清潔保持がもたらす心身への効果について理解することができるようになる			
		各コマにおける授業予定	入浴清潔保持に関連したこころとからだのしくみ			
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	心身機能低下が、清潔保持の影響を理解することができるようになる			
		各コマにおける授業予定	心身の機能低下が入浴清潔保持に及ぼす影響～変化と気づきと対応 観察ポイント 緊急対応			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	尿、排便のしくみを理解し、正常であるかどうかの指標を理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	排泄に関連したところとからだのしくみ		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	排泄障害の種類と特徴を理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	心身の機能低下が排泄に及ぼす影響～変化と気づきと対応 観察ポイント 緊急対応		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	休息・睡眠のしくみを学ぶ～良質な睡眠を学び理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	休息・睡眠に関連したところとからだのしくみ		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	睡眠障害の種類、特徴について学び、理解していくことができるようになる		
		各コマにおける授業予定	心身の機能低下が休息、睡眠に及ぼす影響～変化と気づきと対応 観察ポイント 緊急対応		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	終末期の捉え方、看取りでの尊厳の保持の意味を理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	人生の最終段階のケアに関連したところとからだのしくみ		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	死のプロセス グリーフケアのありかたを知り理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	死に対するこころの理解		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	終末期から死までの身体機能の特徴を理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	終末期から危篤状態～バイタルサイン 医療職との連携		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	解剖生理を国試問題使用、問題の傾向を掴めることができるようになる	受験ワークを使用	
		各コマにおける授業予定	1回～15回の範囲で問題を解く		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	解剖生理を国試問題使用、問題の傾向を掴めることができるようになる	受験ワークを使用	
		各コマにおける授業予定	16回～27回の範囲で問題を解く		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	からだ、心のしくみの理解度を確認していくことができるようにする		
		各コマにおける授業予定	まとめと試験対策		